



- 患者さんの人権と権利、そして思いを尊重します
- 安全で安心な急性期医療、がん医療、予防医療を推進します
- 救急医療の充実に努めます
- 地域の医療・介護・保健機関とつながる医療を行います
- 職員の働きがいのある職場を目指します

「無菌治療ユニット」開設しました

血液内科医長 青木 剛

2021年4月に当院血液内科を新規に立ち上げてから約2年が経過しました。南加賀地区の血液疾患患者さんを当院でお引き受けできるようになり、主に悪性リンパ腫や多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群に対する化学療法（抗がん剤治療）や輸血など支持療法、自己免疫学的機序による血液疾患（特発性血小板減少性紫斑病など）に対するステロイド治療などを行えるようになってきております。2022年4月からは血液内科常勤医師が合計2名に増員となり、血液疾患診療体制をより強化しております。

そしてこの度、2023年2月14日に「無菌治療ユニット」が運用開始となりました。「無菌治療ユニット」にはISOクラス6以上の無菌室（個室）2部屋とISOクラス7以上の準無菌室（多床室）5部屋を整備し、各部屋には滅菌水装置を整えております。更にシャワー室やリハビリ室、面談室なども整備しており、ユニット内でも患者さんが快適に過ごしていただけるよう、工夫した仕様となっております。

「無菌治療ユニット」開設により、これまで行ってきた血液がんに対する化学療法に加え、急性白血病に対する高度の好中球減少を伴うより強力な化学療法（寛解導入療法や地固め療法）も行えるようになりました。実際に「無菌治療ユニット」運用開始以降、僅か1ヶ月で3名の白血病患者さんの治療を当院で行えており、南加賀地区での血液疾患診療の大きな前進を実感しております。将来的には、重症再生不良性貧血に対する強力な免疫抑制療法や悪性リンパ腫・多発性骨髄腫に対する自家末梢血幹細胞移植も行えるように体制を更に強化していく予定です。

今後も南加賀地区の患者さんのご期待に沿えるよう、より多くの高度の血液疾患診療を行っていきたいと考えておりますので、どうかよろしくお願い致します。

「無菌治療ユニット」を開設

2023年2月14日から「無菌治療ユニット」を開設し、南加賀地域における血液疾患の入院診療を担っていきます。

入院診療では、主に白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群等に対する化学療法(抗がん剤治療)を行っていきます。

▶「無菌治療ユニット」について

白血病や悪性リンパ腫等の血液疾患では強力な抗がん剤治療を行います。血液疾患では、もともと免疫力が低く、抗がん剤治療を受けることで更に免疫力が著しく低下し、細菌やウイルス、カビなどの微生物による感染症にかかりやすくなります。「無菌治療ユニット」内では、感染を防ぐために、一般の病室と比較して、きれいな空気が流れています。



▲「無菌治療ユニット入口」

「無菌治療ユニット」内では面談室を含め、専用の空調設備により、高い空気清浄度を保っています。



▲専用の空調設備

▶「無菌治療ユニット」の特徴

- 2種類の病室があり、無菌室(個室)2部屋、準無菌室(多床室)5部屋を備えています。
- 空気清浄度は、無菌室がISOクラス6以上、準無菌室がISOクラス7以上です。



▲無菌室(個室)



▲準無菌室(多床室)



- 病床毎に滅菌水装置がついており、清潔な水を利用できます。
- 無菌室(個室)には病室内にシャワー、トイレがあります。



▲滅菌水装置



▲トイレ・シャワー(個室内)



- 「無菌治療ユニット」内にはシャワー室(3室)があり、ストレッチャーも利用できます。

◀ユニットシャワー

面談室は、ご家族との面会時にご利用いただけます。説明用モニターを設置しており、主治医によるインフォームドコンセントも行うことができます。面談室内も滅菌水装置及び専用の空調機器が設置されています。

面談室▶



リハビリテーション室にはエルゴメーター、リカンベントクロストレーナー、フラットベンチ等の専用機器を設置しています。「無菌治療ユニット」内でリハビリテーションを行い、日常生活への回復を目指します。

◀リハビリテーション室

「看護業務の効率化先進事例アワード2022」 で奨励賞を受賞しました。

日本看護協会が主催する「看護業務の効率化先進事例アワード2022」で奨励賞を受賞しました。



コロナ禍で看護師の異動や部署横断の緊急対応が増え、「なれない部署で物品を探すのに時間がかかる」という声があがり改善に取り組みました。

看護部と物品管理センターと協議し、点滴チューブなど約300種類の医療用資材の収納や分類、表示を全館で統一し、資材の絵や大きな文字、種類別で色分けした「アイコンシール」を貼り、識別しやすくしました。その結果必要な物を持ち出す時間や在庫の確認時間も大幅に短縮されました。奨励賞の受賞は4年ぶり2回目となりました。



▲整理した病棟のもの



当院の認定看護師・特定行為看護師 にお任せください

もしも、がんになったら？ 知ってほしいこと

当院は地域がん診療連携拠点病院です。

がん診療連携拠点病院とは、国が定めた専門的ながん医療を提供する病院です。
全国400か所以上にあり、がん相談支援センターが設置されています。

誰でも無料で相談できる、がん相談支援センター

誰でも、無料で、匿名でも相談できます。

たとえば…

- がんかもしれない
- 先生の話がわからない
- どの治療がいいの？
- 家族に、職場に、どう伝える？…



家族のがんも相談できます

がん相談支援センターでは、家族からの相談もお受けしています。情報を探したいときはもちろん、接し方や支え方に悩んだときにも、ぜひご利用ください。

仕事との両立をあきらめないで

仕事を続けながら治療を受けている人もたくさんいます。あなたに必要な情報を一緒に探します。



当院のがん相談支援センターでは、就労や経済的な心配、地域の医療に詳しいがん専門相談員が相談をお受けします。また、患者さんやご家族が集う、がん患者サロン Kataro-saの紹介や、治療について、医師の他に抗がん剤治療や緩和ケアに詳しい看護師に相談することも出来ます。

必要な情報を、確かな情報源から！

当院での相談以外にも、信頼できる情報を知る方法として、インターネットで、「がん情報サービス」(www.ganjoho.jp)を検索してみてください。国立がんセンターが提供するサービスであり、治療方法の他に、体験談や利用できる制度やサポートがまとめられています。

がんと診断されてからのあなたは、大切な選択や決断を求められることが増えると思います。「治療する、しない」「手術か、抗がん剤か」「誰に伝える？ 伝えない？」「仕事を続ける？ 退職する？」どれもひとりで考えて決めるのには、大きな課題です。「一度相談してみよう」と思ったときの窓口が『がん相談支援センター』です。あなたの「困った」「どうしよう」の解決の糸口を一緒に考えて、力になりたいと考えています。

このページは、国立がんセンター「がん情報サービス」(www.ganjoho.jp)の情報を参考にまとめました。

担当：がん化学療法看護認定看護師 松本真樹 緩和ケア認定看護師 木戸口勝巳





メディカルレポート

歯科衛生士



歯科衛生士は歯科疾患の予防と口腔衛生の向上を図るために、歯と口腔の健康づくりをサポートする専門職です。当院には3名在籍しており、病院の歯科衛生士として口腔外科治療の補助を行っています。

その中でも急性期病院として周術期航空機能管理を行っており、がん等手術の術前術後の口腔管理、がんにおける化学療法や放射線治療中の口腔機能管理を行っています。

当院では日本歯科衛生士学会や看護師と連携した口腔機能管理などについて、病院歯科衛生士として学会発表等も行っています。

medical
+
report

メディカルレポート

視能訓練士



視能訓練士は眼科領域における国家資格を持つ専門技術職です。乳幼児からご高齢の方まで世代を超えて大切な目の健康を守るお手伝いをしており、当院では2名の視能訓練士が在籍しています。

視機能検査：眼圧、視力、視野、眼底、画像診断検査、メガネ処方などの検査を行い、医師の診断や治療に必要なデータを提供し眼科医療をサポートしています。

小児の弱視や斜視に対するの視力向上や正常な視機能の獲得を目指して訓練を行っています。

総合病院の視能訓練士として、脳疾患の視野検査や糖尿病などの全身疾患に眼合併症の検査、小児の視機能検査、顔面外傷による検査など他科からの様々な依頼にも対応しています。



Look

新しく認定看護師となりました。

感染管理認定看護師 神澤 幸恵

頑張ってます！



2022年に感染管理認定看護師の資格を取得しました。感染症はコロナだけでなく、様々な感染症があります。それぞれの感染症に合った感染対策ができるよう職員に働きかけ、患者さんに安全で安心な医療を提供できるよう環境を整えていきたいと思っています。

また各部署の感染対策のリンクナースやエキスパートナースと協働して、全職員が安全に業務を行えるよう標準予防策や手指衛生の指導を行っています。職員が気軽に相談できる身近な存在として活動をおこなっていきたいと考えています。



編・集・後・記

まだまだ暑い日が続いています。暑さに身体がついていかない今日この頃です。最近は季節感が少しずつすすれてきていると感じています。季節の食べ物や行事等で季節を感じていきたいなあと思っています。(高原)



国民健康保険 小松市民病院



〒923-8560 石川県小松市向本折町ホ60番地
TEL(0761)22-7111(代) FAX(0761)21-7155
URL <http://www.hosp.komatsu.ishikawa.jp/>
E-mail cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp